勝山市観光振興ビジョンの骨格

●基本理念　市民は全員学芸員！
来て、観て、触れて、魅力満載！「まちはまるごと博物館」

●将 来 像　太古の時代から今日まで続く大地の営み、悠久の歴史の中で地域住民が培ってきた自然・歴史・産業遺産や伝統、文化など、エコミュージアムにより再発見された地域資源を勝山市の個性としてさらに磨いていきます。
地域がいきいきと躍動するこの態様そのものを魅力に高めて広くアピールし、来訪者を笑顔でもてなします。

背 景

1. 地域固有の文化や地域の資源に対する関心の高まり
2. 団体旅行のかたち、家族旅行へのシフト
3. パッケージ旅行から個人旅行へのシフト
4. 成熟世代の趣味やこだわり重視の本物志向へのシフト
5. アクセスの向上
6. 東アジア中心の外国人観光客の増加、旅行者の広域化

現 状

(1) 全国に誇れる観光素材、観光施設に恵まれている
① 福井県立恐竜博物館の年間入館者が50万人を突破
② 国内で発見された恐竜化石の8割が杉山で発掘
③ 清大寺越前大仏は建造物の規模において日本一
④ 勝山城博物館には貴重な歴史資料が収蔵されている
⑤ 国史跡白山平泉寺は第1級の歴史遺産。ガイダンス施設の完成が間近に迫る
⑥ スキージャム勝山は西日本一の規模とサービスを誇る通年型リゾート施設
⑦ 加越国境連山等への登山者が増えている

(2) エコミュージアムにより地域の魅力が再発見された
① 地域の遺産が発掘され、地域の誇りが復活した
② 市民の力で地域資源を継承し、新たな魅力が創造された
③ 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークが日本ジオパークとして認定された
④ 左義長など誘客力のあるイベントの魅力が高まってきている
⑤ 世界で9番目にクリーンな（きれいな）都市として外部から評価された
⑥ かつやまをきれいにする運動等により、環境保全･景観意識が高揚した
⑦ 農業体験や自然体験の素材が充実している

(3) まちなかの拠点整備が進んだ
① ゆめおーれ勝山が整備され、年間入館者が11万人を突破した
② 高質化舗装や歴史的街並みの復活により中心市街地の町並み景観が再生されてきている
③ ゆめおーれ勝山、勝山駅前広場等の整備が進んでいる
④ 全国まちの駅連絡協議会に37駅が加盟
⑤ まちなかに空き店舗が増え、居住者の商業者としての意識が希薄化し、商店街としての機能が低下している
⑥ まちなかに、観光客のニーズに応えられる飲食･土産施設が少ない

(4) 観光関係者間の連携が不足している
① 市内の観光関係組織･業者の役割分担と連携が不足している
② 複数の枠組みによる広域観光が錯綜している
③ 恐竜、平泉寺など勝山を素材にした商品、土産物が少ない
④ 蕎麦以外の地元素材を使った魅力ある食事メニューが少ない

課 題

(1) 素材の魅力を高めて、さらに活かしていく
① 福井県立恐竜博物館の盛況を市内の観光振興と一体化する
② 福井県立恐竜博物館来場者の車対策
③ 恐竜化石発掘地を訪れることができる場所として整備する
④ 清大寺越前大仏への来場を促進し、門前町を活性化する
⑤ 勝山城博物館を歴史博物館として情報発信する
⑥ 国史跡白山平泉寺を質が高い歴史資源として活用、禅定道を整備する
⑦ 電車利用客の足の確保
⑧ 法恩寺山有料道路の利用料金を安くして、スキージャム勝山のグリーンシーズン利用度を向上する
⑨ 外国人観光客への対応

(2) エコミュージアムによる地域の魅力を観光振興につなげる
① 歴史遺産、自然遺産、産業遺産などを観光資源として活用する
② 左義長など伝統文化の継承や新たな地域伝統文化に対する支援
③ 恐竜化石、火山地形、河岸段丘などの地質、地形遺産をジオパークとして整備
④ 美しい環境、景観を観光資源としてアピールする
⑤ 美しい景観を維持していくため、市民力を活用する
⑥ 様々な体験メニューを組み込んだ「ジオツーリズム」など各種の体験ツアーを構築

(3) まちなか誘客の仕組みをつくる
① ゆめおーれ勝山の体験メニューや動態展示等の充実･テーマ展等の開催により魅力を向上する
② 勝山駅、駅前広場をまちなか誘客の起点として活用する
③ 歴史的街並み、大清水公園、石畳道などの魅力を活かす
④ まちなかの商店街の機能を向上する
⑤ まちなかでの事業継続及び新たな出店を創出する
⑥ まちなかの歴史的景観や風情を活かした休憩･飲食施設を誘致、創出する
⑦ まちの駅の機能向上
⑧ まちなかの駐車場対策

(4) 勝山市全体を捉えた観光戦略をつくる
① 関係機関の役割を明確化する
② 連携強化による広域観光の推進
③ 左義長など誘客力のあるイベントによる通年誘客と滞在型観光の展開
④ 勝山市独自の土産物開発
⑤ 蕎麦のブランド化と新たな地場産食材を使ったメニュー開発
⑥ 道の駅の整備
⑦ 笑顔でのもてなしの心を醸成する

戦 略

(1) 恵まれた観光資源と施設の魅力をさらに高めて、連携する仕組みをつくり、相乗効果を発揮する

(2) 勝山市独自のエコミュージアム、ジオパークを組み入れた着地型観光の展開を図る

(3) まちなかの魅力を向上して中心市街地への誘客を図るために、ゆめおーれ勝山と、えちぜん鉄道勝山駅を起点とし、まちの駅等を組み込んだ中心市街地の回遊ルートを構築する

(4) 勝山市の観光戦略を担う人材（観光プロデューサー）を登用し、人材の育成を図るとともに組織機構を確立する